

特別養護老人ホーム 湯梨浜はごろも苑

1 基本方針

入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立って良質の介護福祉サービスを提案し、個別ケアを実践する。

良質の介護・福祉サービスを提供することにより入居者がその有する能力に応じ、安心して安全な自律した日常生活を営むことができるよう努める。

地域住民との交流を深め、地域に必要とされ、愛され信頼される施設づくりに努める。

2 今年度重点事業目標

(1) ユニットケアの充実

ア 入居者に対し「真心」「思いやり」「気配り」の心を持った介護・接遇に努める。

イ その人らしく生きるということに重点を置き、認知症研修や事例検討を行うなど、認知症への理解を深めることでケアの充実を図る。

ウ 入居者一人ひとりのニーズに対応するために個々の生活歴などを活かし、自律支援の視点から個別ケアの充実を図る。

エ 行事の企画運営を行い、入居者が楽しみのある充実した生活を送れるよう努める。

(2) サービスの質の向上

ア 福祉サービス第三者評価を受審し、現状把握と改善を図り、サービスの質の向上を目指す。

イ 入居者が快適に過ごすことができるよう衛生的な環境を維持する。

ウ 人間力及び現場力を兼ね備えた責任感及び専門性の高い職員の育成を図る。

エ OJTによる人材育成ができるチームリーダーの育成を図る。

(3) 人権の尊重

入居者の尊厳を尊重したケアに努めると共に、気づきの機会を増やし、虐待に繋がる可能性がある些細な事にも目を向け、「身体拘束ゼロ」「虐待ゼロ」に取り組む。

(4) 介護事故予防の推進

積極的に ICT（情報通信技術）や福祉用具を活用し、介護事故を未然に回避することにより、より安心して安全な介護を目指す。

また、事故発生時には速やかに検証し、再発防止に努める。

(5) 社会貢献の推進

ア 災害時や非常時の地域住民との連携を強化すると共に、災害時等の避難場所・福祉避難所として地域住民へ「はごろもホール」を提供する。

イ 「交流ホール」「はごろもホール」を開放し、地域の方々やご家族が参加できる活動の拠点となるような役割を果たす。また、地域の方々との交流を積極的に行い、開かれた施設として互いに協力しあえる関係づくりに努める。

(6) 経営改善・基盤の確立

- ア 稼働率96%を目標として運営を行う。
- イ 業務の効率化を図り、適切な予算管理を行う。
- ウ 入院の長期化回避のために、異常の早期発見・早期対応・速やかな受診に努め、入院後は状態確認を多職種と連携し密に行う。

(7) 働きやすい職場環境作り

- ア リフトや福祉用具等を活用し、「持ち上げない」「抱えない」介護を実践し腰痛予防と介護負担の軽減に努めると共に、記録のICT化（ケアパレットの活用）を進める
- イ 人材育成・定着を図るために、接遇マナー、アンガーマネジメント等の研修を行い、よりよい人間関係を構築できるよう努める。

(8) 新型コロナウイルス等の感染予防

- ア 感染症が発生した場合に介護サービスが継続できるようBCP策定を進める。
- イ 感染症対応研修及び訓練を定期的実施することで拡大防止に努める。